

SUPPORT NEWS

あなたの想いを、私の想いをかたちにしたい・・・
地域福祉の観点からだれもが自分らしく生きていける社会を目指します。

NPO法人 地域福祉サポートちた

もくじ

まだまだ居場所、
もっと「ささえあいの居場所」・・・1P
団体紹介
NPO法人東海市在宅家事援助の会
ふれ愛・・・2P

知多市のそれぞれの居場所・・・3P
サボちたインフォメーション・・・4P
NPO担当職員リレー・・・4P

まだまだ居場所、もっと「ささえあいの居場所」

新年明けましておめでとうございます。

昨年、代表理事交代に際し、不慣れな法人運営にも関わらず、さまざまなご支援ご協力をいただき、ありがとうございました。

11月27日にNPO法人ふわりが行った映画会「ただいま～それぞれの居場所～」には、会員団体はじめ多くの方がご鑑賞下さいました。若い人々が立ち上げ運営する宅老所の姿を描いたものであり、認知症のお年寄りをはじめ、知的障がい、精神障がいのある人など一筋縄ではいかない人たちが、ありのままに受け入れられて普通の生活を営んでいる様子が映し出されました。それを支えながら「介護って、相手と深く関わる事。人間とは？人生とは？家族とは？」と常に考えさせられ勉強できる。介護の仕事っておもしろいんだよ」と伝えてくれます。こういう若者がいる限り、これからの日本もまだ大丈夫と伝えたかった、と監督の大宮さん。宅老所は通常の施設や制度からはじかれた人の居場所であるばかりか、その人生に寄り添い、つきあってくれる若者たちと近所の人々の居場所にもなっていました。

このような「ささえあいの居場所」が核となり、不足するものは介護保険や医療・看護の手を借りて、地域の人々と専門職が一緒になって、在宅の暮らしを実現するのが、超高齢社会日本に残された道だと思えます。

さて、日本福祉大学の協働型サービスラーニングでは、学生が目標を定めて会員団体で実践活動を行い、ていねいなふりかえりとそれをもとに研究をすすめていく授業ですが、12月18日に活動報告会があり、受入れ団体のみなさんと共に参加しました。

学生から「私達自身も地域の資源である」という気づきがあり驚きました。ともすると、福祉の現場は賃金が安く若い人々を惹きつける魅力に乏しいと

いう文脈になりがちですが、もっともってNPOの現場に若い人たちが参加し、そこにある「ひとを人として育てる力」の恩恵を受けてもらい、ともに居場所を創りあう仲間として受け入れたいと思います。

報告会では「行政の役割」を問う学生もありました。22年度厚労省補正予算では、「地域の日常的な支え合い活動の体制づくり」として200億円が組まれています。居場所の拠点改修等に活用するなど、詳細は、1月15日「地域力をたがやすフォーラム～ささえあいの居場所づくり～」で、荒川英雄地域福祉課長補佐からお聞きしましょう（3p参照）。

知多地域の協働の取り組みは盛んです。大府市では、NPO、社協、行政が「居場所ファンド」立ち上げのための協議をすすめ、知多市では、ささえあい研修会で100人会場に入りきらない程の参加者。阿久比町では、喫茶店



NPO法人菜の花(写真は成岩菜の花の家)が社協と連携し、国交省の事業費で、新たな拠点づくりをすすめることが決まった

推進事業費を獲得、民家を改修し、一時避難所兼地域の交流の場づくりをすすめています。

今年も、誰もが気軽に集える「ささえあいの居場所」拡充プロジェクトをすすめ、市民主体の地域づくりに貢献したいと思います。（岡本）

☆会員団体紹介☆

NPO法人 東海市在宅介護家事援助の会 ふれ愛

地域にささえあいの場をつくらないかん・・・ふれ愛代表の佐々木さんは「身内の病気で日常生活が普通でなくなった時、全ての負担が自身にふりかかる。そんな時、周りに助けがあればどんなに良いか」と、ご自身の経験を原動力に想いを綴る。

定年後、社協主催のヘルパー養成講座を受講、参加者の有志とともに平成2年1月に市民互助型在宅福祉サービス団体を立ち上げ、想いをカタチにした。何をやっているのか一目で分かるように「東海市在宅介護家事援助の会 ふれ愛」と名付けた。

平成12年の介護保険法施行に伴い、平成11年11月法人格を取得し利用者のニーズに応える形で制度事業を始める。老々介護・独居・引きこもりなど、無縁社会に象徴されるさまざまな問題の解決策として、地域に居場所を拡充する活動を続けている。設立20年たった今もなお、お互いさまの精神はゆるぎない。



代表の
佐々木幸雄氏

NPO法人東海市在宅介護家事援助の会ふれ愛は、東海市養父町を拠点に活動。今年度、新たに2つの拠点を構えた。9月に「ふれ愛名和支店」、12月20日に「伏見ふれあいの家」をオープンした。

「ふれ愛名和支店」

東海市名和町（上野中学校西門前）で、地域ふれあい事業と介護保険事業の2つをおこなっている。

地域ふれあい事業は、ここでゆっくりお茶を飲んだり、話をするなど、自由に時間を過ごすことができる。また、電球の球切れや刃物研ぎ、代筆など日ごろのちょっとした困りごとを相談することもできる。

「伏見ふれあいの家」

「伏見ふれあいの家」は地域のたった一人の困りごとを解決しようという想いから始まった。ご近所さんがこのひとりの困ったを「なんとかしなくちゃ」と、つながりのある佐々木さんに相談したことがきっかけで、ささえあいの居場所ができた。



たこやきを作る様子

頼みにして困り事を排除するのではなく、相談をご近所で解決しようとするのが地域力をたがやすことにつながる。

「誰がきてもいい・いつ来てもいい・いつ帰ってもいい」いろんな人々の想いが詰まっている地域の居場所。現在は、たこやき販売や朝市を行っている。今後は、焼きそばなども販売していく予定。

地域の人が「一人の困った」＝「みんなの困った」と捉え、それぞれができることを話し合い、行動し、想いをカタチに変えていった。行政

誰が来てもいいところ
いつ来てもいいところ
いつ帰ってもいいところ

12月20日(月) 10時～ 伏見ふれあいの家 開店!

たこやき 1パック 250円
コーヒー 100円
その他 無料

「たった一人の困りごと」

一見すると、個人の問題のようだが、実はそうではない。「ひとりの困った」は「地域の困った」である。この困りごとを地域で解決できないということは、その地域にその人を支えるだけのチカラがないということになる。他人事ではなく、いつか訪れる未来の私の困ったになるのだ。

NPO法人東海市在宅介護家事援助の会ふれ愛は、「ひとりの困りごと」から新たな社会資源を地域の中に創り出している。地域に根ざした活動をし、地域に愛され、地域の核となっている。佐々木さんの想いが団体へ、そして団体の想いが地域に波及し、地域をたがやし続けている。

地域をささえる活動拠点として、「今後もまだまだ居場所を拡充させたい」と熱く語る。

今後の展開に注目しつつ、この波に乗って広く伝えたい。（江端・後藤）

知多市発 ～それぞれの居場所～

知多市市民活動センター内にあるNPOサポートセンターの機能充実を図るため、今年度、知多市から市民活動団体調査を受託した。

センターの登録団体に加え、社会福祉協議会のふれあい・いきいきサロン、地縁組織から生まれた市民グループなど230団体を対象にアンケート調査を行い、その中から50団体を抽出してヒアリング調査を実施、3月に報告書をまとめる。

地域には多様な交流の場が存在しており、今回の調査から見えた、知多市内の「それぞれの居場所」の一例を紹介する。

■ふれあい いきいきサロン にしのだい

社協登録の14団体の1つ。

10年くらい前から始まった、ふれあいいきいきサロン事業をきっかけに、元民生委員が中心となり、孤立した高齢者をなくすため、地域安全と住民の福祉増進を目的に活動している。



にしの台と梅ヶ丘の合同集会場で月1回開催され、約30名の高齢者が集う。参加者もスタッフに交じって手伝いをする、笑顔の絶えない活動を続けているおかげで、地域の中に挨拶を交わす見守りの関係が定着しつつある。

■旭南コミュニティ 竹林をきれいにする会



うっそうと茂る竹林に困った住民たちが「竹林をきれいにする会」を、平成22年4月に立ち上げた。地主の理解の下、旭南コミュニティ内の放置竹林の整備を始め、竹材を使っての竹細工づくりなどの活動をしている。

メンバーの一人が「30年後は京都の嵯峨野の景観が観られるから」と、うれしそうに語った。会員35名全員が地元住民。月1回の例会で、竹の伐採や竹垣作りを効率よくこなす。

■山法師の会

平成12年設立、大興寺内里山保全を中心に竹細工や陶芸等の文化活動をしている。山法師の木の植樹が名前の由来。年に2～3回の窯焚きでは



夜通し酒を酌み交わすお楽しみもある。植樹した四季さくらも立派に育ち、大興寺地区をく四季さくらの里>として秋にイベントを計画中。

■てらもと輪が家

知多市団塊の世代キャリア活用事業「大人の学校」がきっかけで平成22年【縁ジョイ】が立ち上がり、メンバーの持ち寄り企画で月2回のサロン活動を続けている。



元々、岡田の雅休邸を借りて活動していたが、冬場の使用が難しく、新たな活動拠点を模索。縁あって、寺本に新しい拠点を得て、2011年2月21日にオープンする。当日は、地域住民にも広く門戸を開き「大人の居場所」の必要性を理解してもらおう。ゆくゆくは市内各地に歩いて集える居場所をつくっていき、ネットワークの拠点として人を配置し、常設型にしていきたいと思い描いている。

会の成熟とともに公益活動としてさらに発展し、継続につながっている。ほとんどは会費や参加費で運営が支えられているが、知多市では、補助金等の支援策もある。市民活動を支援する方策をそれぞれの会や行政と協働し取り組みたい。

1月15日には半田市と共催でフォーラムを開催する。実践者の話を聞き、みんなで15年後の暮らしを思い描きながら、地域の中で支え合える取り組みについて考えていきたい。(五十嵐・市野)

地域力をたがやすフォーラム

～ささえあいの居場所づくり～

日時:2011年1月15日(土)10:00～16:30

会場:半田市民交流センター(クラシティ3階)

定員:100名(先着順)

参加費:無料

●基調講演

「2025年 どうする?どうなる?」

●トークセッション

●意見交換会

※問い合わせ:NPO法人地域福祉サポートちた



サポちた インフォメーション

会員さんなどから集まる情報をお知らせします。お気軽に情報をお寄せ下さい。

■ あいちNPO交流プラザwebサイト説明会 & フロから学ぶ映像セミナー

愛知県認証 NPO 法人向け説明会です。法人基本情報等紹介サイトを有効活用していただくための利用法等の説明と、(株)コミュニティネットワークセンター東海ケーブルチャンネル事業推進室の石川雅章氏から手づくり映像と活用の方法について学びます。

<日時> 1月14日(金) 13:30～16:30

<場所> あいちNPO交流プラザ

<問合せ> NPO法人ボランタリーネイバーズ

TEL:052-979-6446 FAX:052-979-6448

■ 成年後見サポーター研修講座

認知症や障がいにより判断能力が不十分な方の権利や財産を守るための成年後見制度。今回は、一般市民の方に制度について知っていただき、理解を深めていただくための講座を開催いたします。

<日時> 1月14日(金)～2月25日(金)全6回
13:30～16:30

<場所> 常滑市保健センター

<参加費> 1,000円 <定員> 40名(先着順)

<問合せ> NPO法人知多地域成年後見センター

TEL:0562-39-2663

■ TV 出演します！！

知多市にある NPO 法人だいのんの花の荒木麻貴臣さんを取り上げた番組がちたはんとークで TV 放映されます。皆さん、ぜひご覧ください！！

ちたはんとーク 2011年1月1日～

月～水/ 10:30～、18:30～、23:00～

木/ 10:30～、18:30～ 土/ 9:30～ 日/18:00～

☆耳より情報☆

サポートちたでは、マイクセット・プロジェクター・ビデオの貸し出しができます！！各1日 1,000円で貸し出していますので、お気軽にお尋ね下さい！！

NPO担当職員リレー

人との出会いを大切に！



日進市市民生活部市民協働課
主事 野村圭一氏

日進市は大学6校を有し、その連携も市民協働課が担当。市役所の隣にあるにぎわい交流館では、ワンデイシェフ方式のサロンがあり、学生も参画。老若男女が交流し賑わっている。

入庁すぐに教育委員会で4年間小中学校を担当し、その後政策推進課(当時)に配属され、地方分権の大きな流れを知った。現在、市民協働課2年目、「人との出会いが増えて、その出会いが大切に思えるようになった。」だからこそ、市役所本来の公共や公益をよりわかりやすい形にして伝えたいと考える。

例えば、NPO法人TABLE FOR TWO Internationalの活動。健康に配慮された1食を選ぶことで、アフリカの開発途上国の学校給食1食分(20円)を支援する。この理念に賛同した事業所が参加登録し、健康志向の昼食を社員が食べることで、お互いの支援につながる。そんな社会貢献に関心を持っている。また、昨年からは愛知県内NPO担当課の勉強会であるNPO研究会にも参加、「地縁とNPOと行政との協働」などの取り組みに余念がない。

プライベートでは、大学のOBオーケストラで運営委員長を約10年務めており、責任感が強く、公私ともに信頼が厚い。(市野)

新会員紹介:.*.☆.*°.!*★.* ☆.*:°.. ☆

☆ご入会ありがとうございます☆ ※順不同・敬称略

【正会員】星野博様(NPO法人志民連いちのみや)

【正会員】岡崎佳子様(日本福祉大学実習教育研究センター)

【準会員】青山孝司様(にぎわい なごみステーション)

NPO現場見学バスツアー



1月18日(火) 9:30～16:30 定員 8人

2月17日(木) 9:30～16:30 定員26人

参加費 5,000円(昼食代別途)

オプションバスツアー常時受付中！
目的に合わせて企画します。(担当:後藤)



特定非営利活動法人
地域福祉サポートちた



478-0047 知多市緑町12-1

知多市市民活動センター1階

Tel 0562 (33) 1631
Fax 0562 (33) 1743